



釧路東高校 C・S 通信

令和7年11月21日発行 第8号

第2回学校運営協議会報告

令和7年度第2回目学校運営協議会を11月20日（木）本校会議室において蝦名弘幸会長をはじめ、8名の委員の皆様にご出席していただき実施しました。

蝦名会長からご挨拶をいただいた後、校長挨拶を経て事務局から令和7年度のこれまでの教育活動について説明を行い、学校



生活の様子、今年度新たな取組である、地域の協力者と連携した地域探究学習や教科横断型防災学習、釧路町役場や自衛隊と連携して実施された1日防災学校などについて報告をしました。また、先日実施された中間反省会議において教職員から課題提起された学校課題についても情報を共有しました。続いて2学年地域探究学習のグループから代表2グループが「釧路の活性化!!!」「自然を守る小さな一歩」というテーマ

で地域探究学習の進捗状況を報告しました。「釧路の活性化!!!」では釧路地域の知名度向上を目的にした鹿肉を用いた新たなご当地メニューの開発について報告されました。「自然を守る小さな一歩」では、ごみのポイ捨て問題の解決策として、調査した先行事例を参考に、ごみを捨てたくなるごみ箱の開発についてアイディアを披露しました。

今回の協議会では、学校課題について委員の皆様のご意見や課題解決に向けたアイディアをいただく機会として、グループ協議の時間を設け、中間反省会議で課題提起された「BS（ベーシックスタディ）の授業改善について（基礎学力の定着）」「規範意識の醸成（身だしなみ、授業中のスマホ使用、TPOに応じたマナー、指導の統一性）」「先を見通す力・自己実現能力を身につけるために日々の教育活動の中でできること」の3つのテーマについて、「学校課題について、外部の目線からの意見や手立てについて」「学校課題解決に向けて、地域が関われること」を観点に協議を行いました。協議では活発な意見交流がなされ、「生徒同士教え合う場面を設定しては?」「学生ボランティアの活用」「小中高の授業連携」「スマートフォン預かり指導の賛否」「短期・長期の目標設定の時間を設けては?」「インターンシップの複数回実施」など多数の貴重なご意見を頂戴することができました。



最後に、蝦名会長から北海道夕張高等学校の視察報告をしていただき、主に地域探究学習の取組について説明をしていただきました。本校の取組に活かすことができる内容であり、今後の学習内容の改善に役立てていきたいと考えております。

委員の皆様にはご多用の中、ご出席していただき、貴重なご意見を頂戴し誠にありがとうございました。皆様から頂いたご意見を今後の学校運営に反映させていきたいと考えております。

